

## 再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

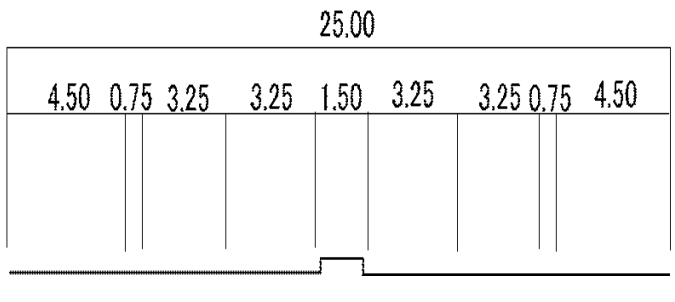
担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：野田 勝

事業名：（重要物流道路） 主要地方道 筑紫野古賀線（須恵工区）	事業区分：地方道	事業主体：福岡県
起終点：自：福岡県糟屋郡須恵町新原 至：福岡県糟屋郡須恵町植木		延長：3.6km
事業概要：主要地方道筑紫野古賀線は、福岡都市圏の南東部を通過し、一般国道3号を補完する延長約33kmの広域的な幹線道路である。当該箇所の整備により、交通容量の拡大による広域ネットワークとしての機能強化及び交通混雑の緩和を図るとともに、沿道に立地する工業団地から九州縦貫自動車道須恵スマートIC・福岡高速道路大野城ランプへのアクセス強化、定時制の確保が期待される。		
H24年度事業化	H17年度都市計画決定	H26年度用地着手
H28年度工事着手		
全体事業費	約83億円	事業進捗率
計画交通量	38,300～51,400台/日	約16%
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 2.7 (残事業) 3.5	総費用：(残事業)/(事業全体) 48/61億円 (事業費：46/59億円) (維持管理費：1.8/1.8億円)
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C=2.4～3.0(交通量±10%) 事業費：B/C=2.5～3.0(事業費±10%) 事業期間：B/C=2.4～3.1(事業期間±20%)	(残事業) 交通量：B/C=3.1～3.8(交通量±10%) 事業費：B/C=3.2～3.9(事業費±10%) 事業期間：B/C=3.0～3.9(事業期間±20%)
総便益	(残事業)/(事業全体) 166/166億円 (走行時間短縮便益：155/155億円) (走行経費減少便益：5.0/5.0億円) (交通事故減少便益：6.1/6.1億円)	
基準年	平成30年	
事業の効果等 ・交通容量の拡大による広域ネットワークとしての機能強化及び交通混雑の緩和が図られる。 ・沿道に立地する工業団地から九州縦貫自動車道須恵スマートIC・福岡高速道路大野城ランプへのアクセス強化、定時制の確保が期待される。		
関係する地方公共団体等の意見 ・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。		
事業評価監視委員会の意見 ・事業継続を妥当と認める。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成27年10月に隣接工区（宇美町宇美東～宇美町桜原）が4車線供用開始。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・用地取得率約12%、事業進捗率約16%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・用地の取得に努めるとともに、計画的に設計及び用地買収を推進していく。		
施設の構造や工法の変更等 ・今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	・事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。	

事業概要図



横断面図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。